

基本的な感染防止策

具体的な対策例 ※対策の例であり必須の取組ではないことに留意すること

1. イベント参加者の感染対策

(1) 感染経路に応じた感染対策

①飛沫感染対策

- イベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）におけるイベント参加者間の適切な距離の確保

- 入場ゲートの増設、開場時間の前倒し、時間差・分散退場の実施、密集を回避するための人員配置や動線確保等の体制構築、交通機関との連携（駅付近の混雑度データを踏まえた増便等）による誘導
- 密になりやすい場所での二酸化炭素濃度測定器等を活用した混雑状況の把握・管理、マーキング、誘導員等の配置による誘導

②エアロゾル感染対策

- 機械換気による常時換気又は窓開け換気
 - * 必要な換気量（一人当たり換気量 $30\text{m}^3/\text{時}$ を目安）を確保するため、二酸化炭素濃度を概ね $1,000\text{ppm}$ 以下を目安（二酸化炭素濃度測定器の活用が効果的）
 - * 機械換気が設置されていない場合の窓開け換気は、可能な範囲で2方向の窓開け
 - * 機械換気、窓開け換気ともに、相対湿度の目安は40-70%
 - * 屋外開催は除く
- イベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）におけるイベント参加者間の適切な距離の確保【①と同様】

- 各施設の設備に応じた換気
 - ・ 施設に備わっている換気設備の確認、その仕様を踏まえた適切な換気
 - ・ 二酸化炭素濃度測定器による常時モニターや映像解析を活用した換気状況を確認するための手法の検討・実施
 - ・ 換気能力維持のための定期的な検査・メンテナンス
- 距離の確保については、①飛沫感染対策の対策例を参照

③接触感染対策

- イベント参加者によるこまめな手洗・手指消毒徹底や、主催者側によるイベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）の消毒の実施
- イベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）におけるイベント参加者間の適切な距離の確保【①と同様】

- 具体的な手洗場、アルコール等の手指消毒液の設置場所、準備個数等の検討・実施
- アナウンス等による手洗・手指消毒の呼びかけ
- 距離の確保については、①飛沫感染対策の対策例を参照

<p style="text-align: center;">基本的な感染防止策</p>	<p style="text-align: center;">具体的な対策例 ※対策の例であり必須の取組ではないことに留意すること</p>
<p>(2) その他の感染対策</p> <p>④ 飲食時の感染対策</p> <p>□ 上記(1) 感染経路に応じた感染対策と併せて、飲食時の感染対策の周知</p> <p>⑤ イベント前の感染対策</p> <p>□ 発熱等の症状がある者のイベント参加の自粛の呼びかけ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ アナウンス等による飲食時の感染対策の呼びかけ ○ 飲食専用エリアの設置及び当該エリアでの飲食の推奨 ○ 飲食店に求められる感染対策等を踏まえた飲食専用エリアでの感染対策（身体的距離の確保等） <ul style="list-style-type: none"> ○ 体制構築の上、検温・検査の実施 ○ 発熱等の症状がある者の参加自粛を促すことができるキャンセルポリシーの整備
<p>2. 出演者やスタッフの感染対策</p>	
<p>⑥ 出演者やスタッフの感染対策</p> <p>□ 出演者やスタッフによる、練習時・本番等における上記(1) 感染経路に応じた感染対策に加え、健康管理や必要に応じた検査等の実施</p> <p>□ 舞台と客席との適切な距離の確保など、出演者やスタッフから参加者に感染させないための対策の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常から行う出演者やスタッフの感染対策の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康アプリの活用等による健康管理 ・ 出演者やスタッフの必要に応じた検査の実施 ・ 発熱等の症状がある者は出演・練習を控える ・ 練習時やその前後の活動等における出演者やスタッフの関係者間の適切な距離確保、換気等 ○ 本番及びその前後の活動における出演者やスタッフの感染対策の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 控室等における換気や三密の回避 ○ ステージと観客席間の適切な距離の確保、出演者やスタッフ及び観客双方への感染対策の周知